

# 羽田地区 (羽田1～6丁目)

# 事前復興まちづくり訓練 ふっこうまちづくり ニュース vol.4



## 第3回事前復興まちづくり訓練を開催しました！

令和6年4月23日(火)に「第3回羽田地区事前復興まちづくり訓練」を開催し、19名の方が参加しました。「羽田地区事前復興まちづくり計画(案)」について模擬説明会を実施し、グループワークで参加者の皆さんからご意見をいただきました。

1. 開会あいさつ
2. 第2回訓練の振り返り
3. 模擬説明会  
『羽田地区事前復興まちづくり計画(案)』について
4. グループワーク  
『羽田地区事前復興まちづくり計画』をまとめよう
5. アドバイザーによる解説・振り返り



## 『羽田地区事前復興まちづくり計画』をとりまとめました！

全3回の事前復興まちづくり訓練では、羽田地区が大きな震災で被災した場合、「どのようなまちに復興していきたいか」「災害に備えてどのようなまちづくりができるのか」について地域の皆さんとグループワークで検討し、訓練の成果を「事前復興まちづくり計画」として取りまとめました。

今後、大規模な震災が起きた際は本計画をたたき台とし、地区の皆さんと大田区で協働して復興まちづくりを進めます。

羽田地区事前復興まちづくり計画は  
大田区ホームページで公開しています。  
ぜひご覧ください！



🔍 羽田地区 事前復興まちづくり訓練

### 『羽田地区事前復興まちづくり計画』の構成

#### 目次

- ・はじめに
- ・迅速な復興に向けた取組み
- ・前提とした被害想定
- ・復興まちづくり計画について
- ・羽田地区事前復興まちづくり計画
- ・復興時の市街地の変遷と具体的な取組み
- ・羽田地区「復興の進め方」
- ・事前復興まちづくり訓練
- ・復興に向けて普段からできること、できそうなこと



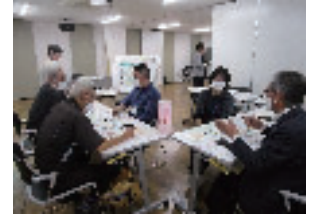
## ●模擬説明会『羽田地区 事前復興まちづくり計画（案）』について

復興時は、地域住民と区が連携して作成した復興まちづくり計画に関して円滑な合意形成を図ることが重要です。そこで、全3回の訓練の成果をもとに区で作成した『羽田地区 事前復興まちづくり計画（案）』について区職員から内容を説明する模擬説明会を行いました。



## ●グループワーク『羽田地区 事前復興まちづくり計画』をまとめよう

グループワークでは、「羽田地区 事前復興まちづくり計画（案）」について、自分自身や地域に住む多様な方々の立場で、計画の改善点や良い点について意見交換をしました。さらに、円滑な復興を実現するための体制や平時からできるまちづくりの活動について考えました。



### ●主なご意見

#### 参加者自身の視点



- ・主要生活道路の6m整備に合わせて電柱の地中化を進めるべきである。
- ・水害時にも避難できる高さの災害公営住宅があると良い。

#### 若年層の視点



- ・地域に知り合いがない可能性があるため、情報共有の場やイベントで繋がりができると良い。
- ・復興時にも子育て世代や子どもが遊べる公園や広場が必要。

#### 商店主の視点



- ・復興時には高架下等で仮設の商店街ができるとういが、スペースが限られる場合は1つの店舗をシェアし日替わりで運営することができれば良いのではないかと。

#### 独居高齢者の視点



- ・高齢者が集い、復興の情報を共有できる場があると見守りにも繋がる。
- ・多摩川の水辺空間を、高齢者や車イス利用者も安心して楽しめるように整備できると良い。
- ・安心して暮らせる災害公営住宅が必要。

#### 普段からできる活動

- ・現在、町会で実施している高齢者の見守り活動を継続し、災害時・復興時にも行う。
- ・水害、津波等の様々な災害を想定し複数箇所の避難所や避難ルートを設定しておく。

- ・子育て世代や若年層と一緒に防災訓練を実施し、初期消火の重要性や方法を周知できると良い。
- ・マンション等の新規住民と町会でのコミュニティづくりが重要。

## ●アドバイザーによる解説・振り返り / 東京都立大学 市古太郎 教授



いちこ たろう  
市古 太郎 教授

東京都立大学 都市環境学部  
都市政策科学科 教授  
大田区都市計画マスタープラン  
改定委員（令和4年3月）

アドバイザー

全3回の訓練では、災害で大きな被害を受けても、羽田地区をさらに良いまちに復興するという方向性が共有できました。

復興時には仮設商店街や地域住民が集う場等の担い手が重要です。今後も、普段から多世代・多主体との繋がりを意識し、羽田地区全体としての防災まちづくりや個々の備えについて考えていきましょう。

### ●参加者の感想

- ・年齢問わず様々な意見を聞くことができ大変良かったと思う。
- ・羽田のまちを「面」として捉えて復興について考えることができた。
- ・今後も事前復興に関する訓練や意見交換を継続的に実施していきたい。

